



品質は語る……

## 白松がモナカ本舗



春のお彼岸に、白松の名菓

## 「ぼた餅」



1個158円

数量  
限定

※直営店にてご用命をお待ち申し上げております。表示価格は消費税込みです。

モナカ・ヨーカンの全国発送を承ります。☎0120-008-940 ※受付時間は8:00~17:00となっております。http://www.monaka.jp/ ●無料配達地域ご案内[直営店受付のみ]仙台・岩沼・名取・多賀城・塩釜(離島を除く)・石巻(旧市内)・大崎(旧古川市内)・札幌

# 「エックス橋」。謎めいた名は今も記憶に。

寛文(1663)年、塩竈神社改築の際、仮宮が置かれた縁から、地元住民が祀り守ってきた。橋の石材(「字恵」を、参道の数石として保存。境内には「説明板」も。

解体前のレンガ造りのX橋  
橋から降りる階段に使われた茨城県笠間産の稲田石(名掛丁東名会提供)



昭和39年のX橋(河北新報社提供)



杜の都のランドマークとして、小説の舞台にもなり仙台駅の北側で東北本線をまたいで東西を繋いできた「X橋」。謎めいた名前前で親しまれながらも昨年姿を消しましたが、今なお市民の記憶に深く刻まれるこの陸橋。今回はこの橋の名前の謎と歴史にせまります。

X橋というのは通称。本当の名は『宮城野橋』です。知らない人が聞くと橋の形がXなのか? と思いますが、**橋そのものが《Xの形》をしていたのではありません。**この不思議なアダ名は線路をまたぐ「**まっすぐな陸橋**」と、この橋のたもとからのびる「**二股に分かれた形状の道**」を含む**この界隈の風景の総称**なのです。

右の昭和3年の地図を見ても、基盤の目状の道路の中で、この橋はかなり異質な存在。わざわざ、平行する通り(当時の元寺小路と名掛丁通)の中間に敷設され、この2本の道に二股の新道をつくり強引に繋がられています。

橋を必要としたのは、当時の陸軍。線路を挟み東西(今の仙台城/榴岡公園/宮城野原公園)にあった軍施設の間を行き来するのに、安定した経路が必要となった(東北本線の複線化等で、駅周辺の道路の踏切が開かずの踏切となった)ため、1921年に建設したのです。戦後は仙台の戦後復興、高度成長期以降の発展に貢献しました。

1995年「アエル」の建設に伴い、橋とハピナ名掛丁を繋ぐ道が廢路となり「Y橋」状態に。2010年には、鉄砲町方面の道も廃止され、一本道の陸橋となりました。2014年7月、二股に分かれた道を橋のたもとに伴っていた二代目宮城野橋の撤去により、「X橋」は姿を消しました。その遺構は仙台駅東口にある**塩竈神社**や**東口交番脇**の歩行者道路の**モニメント**にみるができます(記事上の地図内参照)。橋の石柱と石材の保存に奔走したのは、93年前、ご先祖が橋の誕生に立ち会った地元町内会「名掛丁東名会」の面々。

「街の歴史遺産」として、その歴史を未来に伝えてくれました。

路線バスも通っていた。

バス停はX橋の名が浸透していたことを物語る。(名掛丁東名会提供)



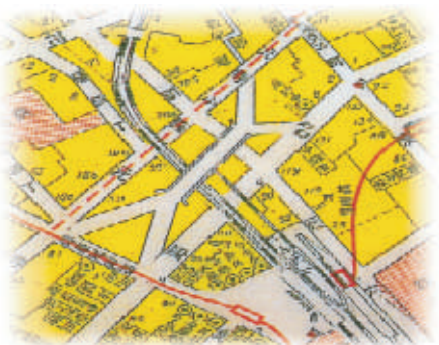
## 通称 [ X 橋 ] エックスばし

正式名称 宮 城 野 橋

初代：1921年～1961年

第二代：1961年～2014年(完全撤去)

陸橋「宮城野橋」と、二股に分れる道路を含む界隈の通称。大正10年(1921年)開通。軍用車両が通れる堅固なつくりで初代は石畳敷き。平成26年、再開発に伴い姿を消した。3代目の宮城野橋は幅員約40メートル長さ193メートル。道路は直線で平成25年から通行がはじまった。



昭和3年の地図に載る「X橋」(名掛丁東名会提供)